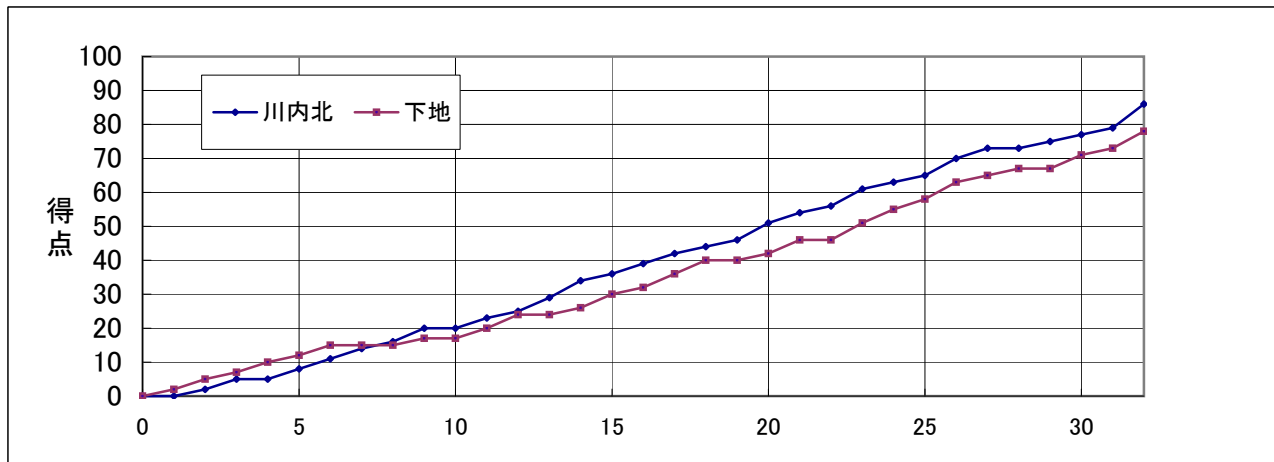


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	D1	9:30	女子1回戦
		川内北 86 (鹿児島1位) ○	16 - 15 23 - 17 24 - 23 23 - 23 -	78 下地 ● (沖縄2位)
期日	2010年(平成22年)3月13日(土)	会場 コンパルホール		



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
-	-	-	-

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 前田 雛子	21	3	6	0	2
5	* 河本 花鈴	0	0	0	0	3
6	* 宇都 愛美子	5	1	1	0	0
7	* 中武 美香	32	4	7	6	3
8	* 瀬口 さやか	15	5	0	0	2
9	吉 永 碧	-	-	-	-	-
10	川路 麻莉菜	0	0	0	0	0
11	養母 脩花	-	-	-	-	-
12	星原 千夏	-	-	-	-	-
13	内倉 文美	-	-	-	-	-
14	天野 智恵	-	-	-	-	-
15	池ノ上 智衿	-	-	-	-	-
16	瀬戸口 由季	-	-	-	-	-
17	阿比留 杏奈	-	-	-	-	-
18	上宮田 悠夏	13	0	6	1	1
コーチ 川原 敏幸						
合計		86	13	20	7	11

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
12:12	20:42 30:04 31:06	-	-

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 川満 夏希	6	0	3	0	0
5	* 洲 鎌奈留美	12	2	1	4	2
6	渡 真利陽奈	3	1	0	0	1
7	* 平 良 葵	0	0	0	0	2
8	* 大嶺 美和	19	0	8	3	2
9	* 新城 梨子	38	0	17	4	3
10	具志 堅望	-	-	-	-	-
11						
12	友利 くるみ	-	-	-	-	-
13	川満 香織	-	-	-	-	-
14						
15						
16						
17						
18						
コーチ 湧川 博昭						
合計		78	3	29	11	10

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評	
10	今大会のオープニングゲームで両チームともマンツーマンディフェンスから流れをつかもうとするが、硬さが見られる立ち上がりでスタートする。その立ち上がり下地#8大嶺のステップインシュートで先制する。その後も下地は#8大嶺・#9新城のインサイドにボールを集めファウルを誘い、そのフリースローを確実に決めて加点していく。川内北は#7中武の3Pで応戦するが、下地も#5洲鎌が3Pを入れ返す。下地がリードする展開の中、川内北は途中交代の#18北原のスピードあふれるプレーで流れを引き寄せた。さらに、川内北は#4前田の3P、#18上宮田のドライブにより16-15で川内北1点リードで終了する。
20	下地のスローインから始まり、#8大嶺のリング下シュートで得点する。一方川内北は#7中武の連続得点で流れを引き寄せようとする。下地も#9新城のポストプレーや#4川満のジャンプシュートで追いすが。しかし、下地は自分たちのミスから川内北#18上宮田にドライブを決められ、たまたまタイムアウト。その後、川内北はドライブシュート中心、下地はインサイドを中心に点を入れあう。終了間際には川内北#7中武の3Pが決まり38-32で点差を広げて前半を終了する。
30	後半は川内北のスローインで、#6宇都の3Pでスタートする。やや緊張感が取れ、両チームともよく動くようになった。下地は前半同様に#8大嶺・#9新城のインサイドで加点していく。試合の展開が速くなり、両チームともレイアップに行く場面が多く見られるようになる。下地#8大嶺のインサイドで応戦するものの、川内北は#8瀬口の連続3Pで10点差となり下地のタイムアウト(残り3分18秒)。タイムアウト後は下地#9新城のジャンプシュートで流れを変えようとするが、川内北#4前田・#7中武のバックドアプレーでそれを阻止する。その後も下地はインサイドを攻めフリースローで得点していくが、川内北は#4前田の3Pや#18上宮田の速い攻撃で追撃を許さず、63-55で終了する。
40	川内北#6宇都がインサイドに切れ込みシュート。下地は速い展開に持ち込みたいが、トラベリングやパスミスで、逆に川内北#8瀬口の3Pを許す。下地#9新城のリング下や#4川満の気迫あふれるプレーで応戦する。下地はその後速い攻めで加点していき、6点差に詰め寄る。残り2分を切り、下地のタイムアウト。その後、下地#8大嶺のインサイドで4点差にするが、川内北も#7中武・#4前田の連続シュートで8点差に広げたところで、下地たまたまタイムアウト。再開後に下地#6渡真利の3Pで5点差にするが、川内北は慌てずボールをコントロールし最後は川内北#7中武がブザービートの3Pを決め、86-78で川内北が勝ちを取めた。アウトサイドを果敢に攻めて、積極的にシュートを狙った川内北に軍配が上がった。両チームとも最後まで足を止めない、中学生らしい好ゲームであった。
記者	久恒、井上 (所属) 大分県バスケットボール協会